

総則 予算

新

政権下の新年度予算編成は、長引く不況の影響を受け国税収入が依然として低水準で推移することが想定される中で、「人間のための経済」を目指し、子育て、雇用、環境、科学・技術に重点を置くこととしております。

小平町の財政状況においても歳入は、自主財源である地方税（町民税や固定資産税など）は、長引く景気の低迷により、地域経済は一段と厳しさを増しており減少が予想されております。

そのような中で、本年度の予算編成に当たっては平成20年度からスタートした「小平町新総合計画」を基本として、地域の活性化と町民の福祉の向上につながる予算編成をしたところであります。

予算総額は、一般会計では41億9百万円、老人保健会計他5特別会計では13億6千5百87万7千円、水道事業会計では1億9千2百44万2千円で、総額56億6千7百31万9千円となり、前年当初と比べ3%の増となっております。

次に、各課の施策概要についてお知らせいたします。

総務 企画

職

員定数及び職員給与や各種委員報酬等の適性管理。交通安全及び防災及び防火対策の充実等「小平町新総合計画」を基本として行政と町民が意欲を持って取り組む体制づくりや安全安心な地域づくりを進めてまいります。

①交通安全対策については「事故に遭わない、起こさない」ことを基本理念とした安全対策を引き続き励行します。
②防犯対策については、不審者や詐欺商法対策など地域内連携を図りながら活動推進します。

③防災対策については、関係機関や地域と連携した防災訓練の実施など防災意識の高揚及び備えに努めます。

④防火対策については、救急体制の充実と住宅用火災警報器の普及促進等防火対策を推進します。

⑤地上デジタル放送については、難視聴地域への対応なども含め地域住民の不安解消など情報提供にも努めます。

⑥定住対策については、支庁圏域を越えた幌加内・沼

主な投資的事業	予算額
極微小テレビ放送局デジタル化事業	60,000千円

田岡町との連携など、当町の地域特性を活かした対策を検討するとともに、官民一体となった協力体制の構築に努めます。

⑦広域行政については、地方分権改革の一貫として進められている事務権限の移譲により地方自治体の負担は組織の縮減と反比例して増加傾向にある中で、管内7町村による広域連携の基盤となる電算システムの共同化を目指した組織づくり等さらに一歩進んだ広域行政のあり方を検討します。

財政

将

来を見据えた財政運営について、国の歳入・歳出一体改革路線等国の動向を常に念頭に置き、財政健全化法下の健全財政の継続を志してまいります。また、町税等自主財源の確保について、より一層地域の理解を前提とした取り組みを推進してまいります。

主な投資的事業	予算額
役場庁舎改修事業	112,000千円

平成22年度 町政執行方針

平成22年第1回町議会定例会が3月4日から19日まで開催されました。この定例会で横濱町長は、平成22年度町政執行の基本方針を述べるとともに、この方針に基づいた予算案を提出し、慎重審議の結果原案どおり可決されました。新年度のスタートにあたり、その概要をお知らせします。